市川　この美

いちかわ　このみ

家庭科教育

社会が大きく変化してきている今、単に知識や技能を受け取るだけではなく、生活の中から自らの問いを見つけ、その解決のために主体的に学び続ける子どもたちの育成が求められています。「伴走者」から「協働的探究者」へ。まず、私たち自身が共に学び合い、考え合うことで、教師の役割について考えていけたらと思います。

2026 年 4 月 1 日現在

奥村 真衣子

おくむら　まいこ

特別支援教育、障害児者心理学

場面緘黙のある人の心理と支援について研究しています。何らかの理由により学校生活に不安や不全感を抱える子ども達が、クラスに参加できている実感や充実感をもてることは、以降の自己肯定や良好な対人関係の形成に影響します。多様なニーズのある子ども達に対 して、地域・学校・学級・子ども個人といった視点から、一緒に考えていけたらと思います。

2026 年 4 月 1 日現在

上村 惠津子

かみむら　えつこ

学校心理学、特別支援教育

障害児教育や学校心理学をベースに苦戦している子どもへの支援やコンサルテーションに関する実践・研究を行っています。一人ひとりの子どもを丁寧に理解することは、その周辺の人的・物的環境を理解することにもつながります。日々の実践をそんな視点から検討し合うことができればと思っています。

2026 年 4 月 1 日現在

北澤　嘉孝

きたざわ　よしたか

学校経営

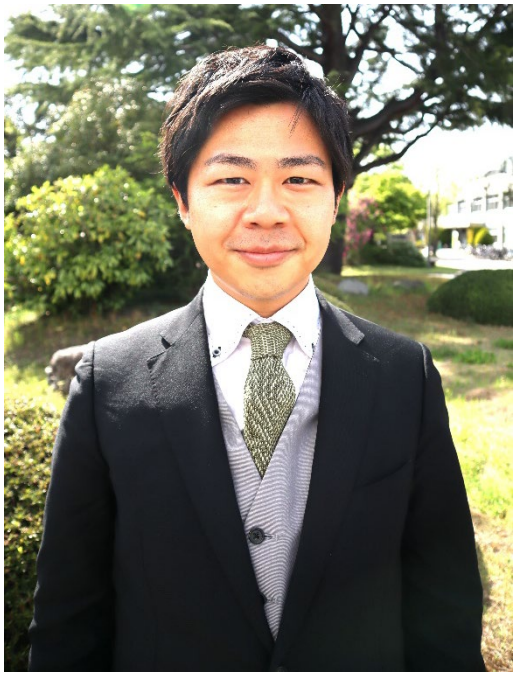
「student　first」と「チーム支援」をコンセプトに、子どもたちに将来必要となる力を育成する学校づくりのあり方について考え、実践してきました。子どもたちが、「多様な人々と協働しながら社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手」に育っていくために、学校・教師が果たすべき役割は何か－教員としてのライフステージ全体を俯瞰し、学校経営の視点から共に問い直していきたいと思います。

2026 年 4 月 1 日現在

楠見 友輔

くすみ　ゆうすけ

特別支援教育学、教育方法学、教育心理学



知的障害のある子どもの学習を中心にして教育論を再構築する研究をしています。教育実践が行われている現場に足を運び、事例を記録したり、子どもや先生にインタビューをしたり、時には自身も授業の中に入り込んだりしながら、これからの時代に教育がどのように変わっていく必要があるのかについて考えています。

2026 年 4 月 1 日現在

酒井 英樹

さかい　ひでき

英語教育学、第二言語習得

学習者の英語習得のプロセス、教室内のインタラクションの分析を行っています。英語による言語活動の質や英語のコミュニケーション能力の獲得の点から、学びを大切にした指導の在り方（目標設定、教育方法、内容、評価など）を追究します。

2026 年 4 月 1 日現在

下山 真衣

しもやま　まえ

障害児者心理学、応用行動分析学

発達障害や知的障害のある子どもたちの行動問題やメンタルヘルスについて研究しています。多様な子どもたちが安心し、お互いに活躍できる学校づくりや授業づくりについて、応用行動分析学の観点から共に考えていきたいと思います。

2026 年 4 月 1 日現在

関　浩司

せき　ひろし

教師教育学、体育科教育学

多様な考えを持つ仲間とだから、多様に学べる教室の実現に向けて、≪教師の在り方≫に注目して、研究を進めています。決められた正解を手にすることに何の意味があるのか問われる時代に、自分の道筋で、自分の納得できる解を深く追究していく子どもの育成が求められています。目の前の子ども達が、今も、未来も、幸せにいられることを願い、自らの観を見つめる教師と、その成長を支える省察的組織としての学校の在り方について、共に考えていきましょう。

2026 年 4 月 1 日現在

賜　正俊

たもう　まさとし

学校経営、教師教育

子どもの声に耳を傾け、子どもの願いに応えるための学校はどうあるべきか、教師は何を大切にしてどう実践を重ねればよいのかを探求してきました。子どもと教師の間に生まれるあたたかな関係性こそが、実践的探求の基底をなすべきことだと考えています。子どもの事実と向き合い続ける学校現場の教師との対話を通して、未来を拓く学校のあり方を共に考えていきたいと思います。

2026 年 4 月 1 日現在

茅野 公穂

ちの　きみほ

数学教育学、科学教育

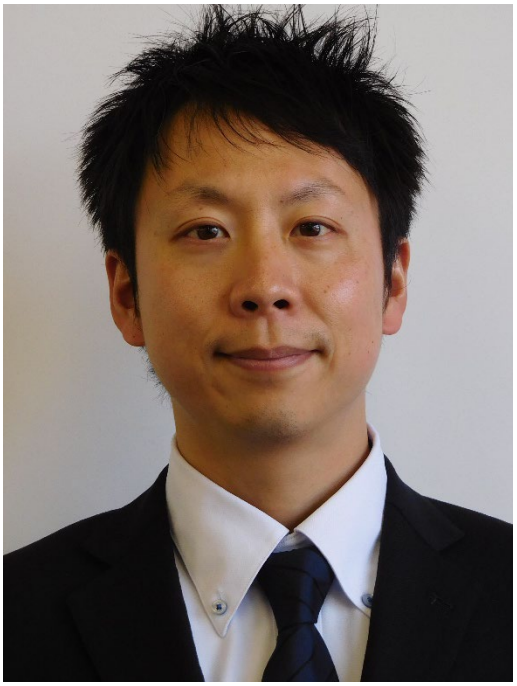
子どもたちの活動を、数学的活動の質など数学教育学の立場から研究しています。子どもたちの確かで豊かな学びを実現するために、小 1 から高 1 までの 10 年間の学びを視野に入れて、目的、内容、教育方法、評価の観点から授業づくりすることができるようにしたいと思います。

2026 年 4 月 1 日現在

戸谷　健史

とや　けんじ

特別支援教育学



知的障害をもった子どもたちが自分の持ち味を存分に発揮しながら活躍する授業の実現に向けて、子どもたちと共に生活する教師の在り方、実態の捉え方、環境の整え方、学びの捉え方などを視点に研究をしています。既定の枠組みのなかで子どもを見るのではなく、
子どもたちと教師、物事の間に起こる一瞬一瞬の出来事から、そこに何が起こったのか捉え、次に活かしていくことを大切にしています。

2026 年 4 月 1 日現在

西　一夫

にし　かずお

国語教育学、古典文学教育

国語科教科書を中心にした教科書研究・教材開発の研究を行っています。児童生徒の学びの手がかりとなる教科書分析を通して、教材の形態や学びの内容を検証し、新たな学習活動の提案や教材の発掘・再評価を行います。また重複教材の系統的・螺旋的な授業づくりの方法についても実践的な検討を行います。

2026 年 4 月 1 日現在

林 寛平

はやし　かんぺい

比較教育学、教育政策学、教育行政学

北欧の教育を中心に、世界の改革動向を研究しています。PISA などの国際学力調査が各国の政策に強く影響するようになり、世界中の学校が標準化に向かっています。一方で、教育は地域の歴史や文化、制度に応じた固有の営みでもあります。教師や学校はこの違いをどう考え、多方面からの要求にどう向き合えばいいのでしょうか。世界的な潮流と具体的な事例を突き合わせ、未来の教育の在り方を一緒に考えましょう。

2026 年 4 月 1 日現在

伏木 久始

ふせぎ　ひさし

教育方法学、教師教育学、カリキュラム開発

学校教育で一般的に行われている一斉画一型授業とは異なる個に応じた教育方法（オルタナティブ教育）を、次世代型学習として国際的な視野から研究しています。 学校現場へは、生活科や総合的な学習の授業づくりやアクティブ・ラーニングに向けた授業研究、特別活動の指導や各種ワークショップ型研修の講師として出かけています。教える側の論理よりも、学ぶ側の論理で授業を問い直す機会を提供したいと思っています。

2026 年 4 月 1 日現在

宮地 弘一郎

みやじ　こういちろう

発達生理心理学、重度肢体不自由教育

行動から反応が捉えにくい重症心身障害児について、まばたきや心拍などの生理心理学的方法を用いた発達評価、実践の評価と向上に関する研究を行っています。また、長期入院児や重度肢体不自由児など、学習上の重い制約があるためにその子が本来もっている学力の保障や発達の保障が困難となっているような子どもの支援について研究しています。

2026 年 4 月 1 日現在

宮野　尚

みやの　ひさし

教育史学、教師教育学、教育経営学

私は「教師が教える営みの中でどのような豊かな学びを展開しているのか」に関心があり、教師教育史研究に取り組んでいます。教える行為には、相手に「こうなってほしい」という理想を伴うため、教育者の価値観が現れます。教える中で学ぶとは、相手の生き様と向き合うことで、自身の理想が揺さぶられ、思いもしなかった新しい価値に気付くことを含意します。ぜひ教える中での創造的な学びを体験しつつ、一緒に探っていきましょう。

2026 年 4 月 1 日現在

谷内　祐樹

やち　ゆうき

教師教育学、教育工学

インストラクショナルデザインを用いた研修開発について研究しています。教職大学院では、主に「校内研修の企画・運営」などを担当します。「研修観の転換」に向けて、どのような研修が求められるのでしょうか。教師の新たな学びについて探究していきましょう。

2026 年 4 月 1 日現在

谷塚 光典

やつか　みつのり

教師教育学、教育工学

教師教育（特に教員養成）における教職ｅポートフォリオの活用について研究しています。チームでのカンファレンスや教職ｅポートフォリオでの自己評価・相互評価を繰り返すことで、省察が深化していきます。学校課題や自己課題の解決のための実践と省察に関わりながら、学び続ける教員を支えていきたいと考えています。

2026 年 4 月 1 日現在

山浦　貞一

やまうら　さだかず

道徳教育、学級経営、キャリア教育

道徳教育・学級経営、そして地域の資源を活用した幼保・小・中・高の切れ目のない系統的なキャリア教育を中心に実践的研究を行ってきました。「学び続ける個の育成」－「教える」から「学ぶ」へと自立した学習者を育む教育の創造のために、学校・教師が果たすべき役割について共に問い直していきたいと思います。

2026 年 4 月 1 日現在

山口　学

やまぐち　まなぶ

国語科教育学、教師教育学

小中学校での授業実践を通して、国語科の授業づくりや単元づくりについて研究してきました。最近は、教師や教職集団の在り方について考えています。とかく教職や教師についてネガティブな言説が聞こえてきがちな昨今ですが、教職を志す、または教職に就いているみなさんが、自己の教師としての姿を省察し、明日の活力や未来の姿へと繋げていけるように、共に考えて参りたいと思います。

2026 年 4 月 1 日現在

若林　史也

わかばやし　ふみや

教師教育学

教員の力量形成が叫ばれる中、自己の在り方に気付くことが教員の質の高まりを促すと考え、実践・研究を行っています。「なぜ私はあの場面で子どもに問い返したのか」「なぜあえてその教材を与えたのか」と行為の意味を協働的に深掘りし、「教育観の自覚」について共に考えていきましょう。

2026 年 4 月 1 日現在